

210101 野外炊事（3月～11月）



内容	人数	制限あり (各炊事場の定員)	場所	炊事場
	指導	あり	時間	3～5時間
	対象	小学生以上	天候	雨天可能

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 薪を燃料とし、かまどで火をたくことにより、食事作りの原点を体験する。 準備から片づけまでの作業を分担して取り組む中で、計画性や協調性を養う。 			
準備	施設	鍵（炊事場）、炊事用具		
	団体	木綿の軍手、タオル、新聞紙、マッチ、ふきん、洗剤、粉クレンザー、亀の子たわし（スチールたわしは使用不可）、スポンジ、緊急用具		
	注文	食材、薪、集水桙用ネット（CRは家庭用持参）		

活動内容	留意点
1. 集合	○調整プログラムで指定された野外炊事場に集まる。
2. 説明と注意	<ul style="list-style-type: none"> ○活動全体の流れ、炊事施設の使い方、役割分担の方法留意点、目標、時間などを全体に説明する。 ○炊事用具の確認と準備をする（種類と数、収納場所）。 ○薪の割り方は職員が説明するので勝手に行わない。 ○ここでは、2人組でまき割りを行う。
3. 直接指導	<ul style="list-style-type: none"> ○準備が出来次第、まき割りの指導のため職員を呼ぶ。 ○薪割りは、薪割り台の上で指導者の監督の下で行う。 ○火起こし係は、まき割りと火起こしの指導を受ける。 ○薪の割り方（軍手の使用、なたの使い方は要注意） ○火起こし（火の起こし方、やけどは要注意）
4. 野外炊事	<ul style="list-style-type: none"> ○衛生面に配慮しながらメニューに応じて調理する。 ご飯・・・鉄なべ おかず・・・アルミなべ ○できあがったグループから食べ始める。
6. 片づけ	<ul style="list-style-type: none"> ○次の利用者が気持ちよく利用できることを心がけて片付けに取りかかる。 ○残飯を始末する。（生ゴミを入れるポリバケツに） ○食器やスプーンなどを洗う。（汚れが残らないように） ○なべを洗う。（なべの底のススもきれいに落とす。） ○数を確認して、未使用のものとは別にして用具庫に戻す。 ○炊事場を清掃する。（かまどには水をかけない） ○かまどの灰は、灰置き場に持って行く。 （バケツ4杯程度の水をかけて、火を完全に消す） ○事務室に連絡を入れて、職員による点検を受ける。
7. まとめ・ふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> ○人数と健康状態の確認を行い、ふりかえり、まとめをする。 ○食材を入れてきたかごを食堂に返す。